

前回分科会(3月8日)での集計に関する要望事項について

1. コスト調査について

(1) 患者分類別の医業収支の集計について

コスト調査では、医業収入と医業費用を把握しているのに、患者分類別に収支を算定することは出来ないか。

【回答】

現時点においては、患者分類別の費用までは算定できないが、病院全体の収支に関しては比較できる。

病院によって収支構造が大きく異なるため、前回調査も実施した22病院に限って比較すると、包括評価導入後に、14病院は改善し、8病院は悪化していた。

医療療養病棟を持つ病院の医業収支の変化状況
(平成18年度調査と平成16年度調査との比較)

収支率の比較差 H18収支率－H16収支率		病院数	平成18年度 - 平成16年度		内訳 病院数
			収入差	支出差	
収支改善	+3%以上	10	↑増	↓減	7
			↑増	↑増	1
			↓減	↓減	2
	0%～+3%	4	↓減	↓減	4
収支悪化	0%～-3%	3	↑増	↑増	1
			↓減	↑増	1
			↓減	↓減	1
	-3%以下	5	↑増	↑増	1
			↓減	↑増	4

※1. 収支率は次式による。収支率 = (医業収入－医業費用) / 医業収入

※2. 収支率の比較差は、平成18年度調査での収支率から平成16年度調査での収支率を差し引いたもの。

※3. 平成16年度調査と平成18年度調査のコスト調査に参加した共通の病院(22病院)を集計対象とした。

※4. 平成16年度調査は平成15年度の年間データを用いて算出した。平成18年度調査は平成18年11月の1ヶ月分のデータを用いて算出した。

2. タイムスタディ調査について

(1) 医療処置のケア時間について

今回の調査では、医療処置を明確に定義した上でケア時間を測定しているため、医療処置の時間の集計をして欲しい。

【回答】

医療処置のケア時間について、患者分類（11区分）別に集計を行った。集計結果は、下表のとおりである。

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り全体ケア時間

平成18年度調査(70病院) 単位:分

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	134.2	151.1	193.2	161.8
ADL区分2	118.0	135.9	170.7	132.6
ADL区分1	93.5(認)	106.5(認)	118.8	97.3
	87.5	104.6		
全体	111.2	132.6	185.4	140.8

※全体ケア時間とは、患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分除く)である。

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り医療処置時間

平成18年度調査(70病院) 単位:分

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	24.6	40.1	60.0	44.1
ADL区分2	12.6	17.9	35.5	17.8
ADL区分1	10.1(認)	9.1(認)	20.5	12.4
	10.5	15.4		
全体	14.9	30.2	54.1	30.7

※「医療区分1・ADL 区分1・認知機能障害有り」及び「医療区分2・ADL 区分1・認知機能障害有り」においては処置時間の逆転現象が見られるが、例数が少ないことに注意(それぞれ80件、61件)。

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り医療処置以外のケア時間

平成18年度調査(70病院) 単位:分

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	109.6	111.1	133.2	117.8
ADL区分2	105.3	118.1	135.2	114.8
ADL区分1	83.4(認)	97.4(認)	98.3	84.8
	77.0	89.2		
全体	96.3	102.4	131.3	110.1

※医療処置以外のケア時間とは、全体ケア時間から医療処置時間を差し引いたもの。

患者分類(11 区分)別の患者1人1日当り医療処置時間の相対比

平成18年度調査(70病院)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	0.802	1.305	1.954	1.435
ADL区分2	0.411	0.582	1.155	0.579
ADL区分1	0.329	0.298	0.666	0.405
	0.341	0.501		
全体	0.487	0.983	1.761	1.000

全体ケア時間に占める医療処置時間割合%

平成18年度調査(70病院)

単位: %

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	18.3	26.5	31.1	27.2
ADL区分2	10.7	13.1	20.8	13.4
ADL区分1	10.8	8.6	17.2	12.8
	12.0	14.7		
全体	13.4	22.8	29.2	21.8

※全体ケア時間とは、患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分除く)である。

(参考)医療処置の範囲

バイタルサインの測定、服薬援助・管理、点滴・注射、中心静脈栄養の管理、褥瘡・創傷部処置、経鼻栄養・胃ろう・経腸栄養の実施・管理、気管内吸引、気管切開の処置、酸素療法の管理、吸入、膀胱洗浄・膀胱留置カテーテルの管理、浣腸・摘便、人工肛門・人工膀胱の管理、人工呼吸器の管理、CAPD(腹膜透析)の管理、心電図モニター管理

3. 患者特性調査（医療療養病棟）について

（1）介護施設への退院見通しがあり、経管栄養を実施している患者について

「退院の見通し」があり、退院先として介護施設（老健・特養）を挙げている患者について、経管栄養の実施状況を集計して欲しい。

【回答】

患者特性調査（医療療養病棟）票の「XⅢ-2. 退院先の見通し」で、今後の見通しとして最も可能性の高い退院先に「介護老人福祉施設」を挙げた患者（N=444）、および「介護老人保健施設」を挙げた患者（N=626）について、退院先の見通し別・医療区分別に経管栄養の実施率の集計を行った。集計結果は、下表のとおりである。

なお、退院先の見通し別では、「1. 90日以内に退院できる見通し」の場合と「2. 90日以内に退院できる見通しはないが、今後の受け皿が整備されれば退院できる」場合の2つの選択肢別に集計した。

■ 介護老人福祉施設 経管栄養（経鼻・胃瘻等）の実施率

退院先の見通し	実施率		医療区分別内訳						全体	
			医療区分1		医療区分2		医療区分3			
1.90日以内に退院できる見通し	15	3.4%	5	33.3%	9	60.0%	1	6.7%	15	100.0%
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	104	23.4%	27	26.0%	70	67.3%	7	6.7%	104	100.0%
計	119	26.8%	32	26.9%	79	66.4%	8	6.7%	119	100.0%

■ 介護老人保健施設 経管栄養（経鼻・胃瘻等）の実施率

退院先の見通し	実施率		医療区分別内訳						全体	
			医療区分1		医療区分2		医療区分3			
1.90日以内に退院できる見通し	14	2.2%	7	50.0%	5	35.7%	2	14.3%	14	100.0%
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	159	25.4%	36	22.6%	99	62.3%	24	15.1%	159	100.0%
計	173	27.6%	43	24.9%	104	60.1%	26	15.0%	173	100.0%

以上